

日興ネクスト10イヤーズ・グローバル・エクイティ・ファンド

(早期償還条項なし)

単位型投信／内外／株式

ファンドの概要

設定日 2010年9月30日
 償還日 2020年9月29日
 決算日 毎年9月29日
 (休業日の場合は翌営業日)
 収益分配 決算日毎

ファンドの特色

- 2050年の見通しにおいて、原則として、GDP規模の上位20カ国の株式を主な投資対象とします。 ※上位20カ国は随時変更される可能性があります。
- 原則として、向こう10年のGDP成長率予測を基に、高成長が見込まれる国の投資比率を高めて運用を行ないます。
- 設定来の1万口当たり収益分配金(税引前)累計額と、1万口当たり基準価額との合計額が12,000円以上となった場合でも繰上償還を行わず、満期償還まで運用を行ないます。ただし、純資産総額が10億円を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。

運用実績

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

<基準価額の推移>



※基準価額は、信託報酬(年率1.386%(税抜1.26%))および税引前分配金控除後の値です。

基準価額 : 12,015円
 純資産総額 : 10.32億円

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
4.01%	8.67%	-6.31%	-3.49%	-8.28%	24.85%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<資産構成比率>

新世界株式マザーファンド	97.6%
現金その他	2.4%

<分配金実績(税引前)と決算日の基準価額>

	設定来合計	11・9・29	12・10・1	13・9・30	14・9・29
分配金	500円	0円	0円	0円	100円
基準価額	—	7,577円	8,654円	11,107円	13,227円
	15・9・29	16・9・29	17・9・29	18・10・1	19・9・30
分配金	100円	0円	100円	100円	100円
基準価額	11,630円	10,976円	13,556円	13,806円	12,960円

※基準価額は、信託報酬(年率1.386%(税抜1.26%))および税引前分配金控除後の値です。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額		11,552円
当月お支払いした分配金		0円
要 因	株 式	377円
	ブラジル	-57円
	ロシア	9円
	インド	75円
	中国	20円
	カナダ	9円
	エジプト	47円
	フランス	9円
	ドイツ	13円
	インドネシア	40円
	イタリア	9円
	日本	19円
	韓国	54円
	メキシコ	22円
	フィリピン	6円
	トルコ	-26円
	イギリス	0円
	アメリカ	58円
	ベトナム	69円
	為 替	100円
	アメリカドル	54円
	ユーロ	9円
	カナダドル	11円
	エジプトポンド	0円
	イギリスポンド	13円
	香港ドル	13円
	メキシコペソ	0円
フィリピンペソ	0円	
トルコリラ	0円	
その他	-13円	
小 計	463円	
当月末基準価額		12,015円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。
傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

ポートフォリオの内容

＜株式・ETF・株式先物国別投資比率＞

国名	比率	投資内容	銘柄
中国	15.1%	株式先物	HSHRS
インド	9.4%	ETF	ISHARES MSCI INDIA-ETF
ベトナム	8.5%	ETF	PREMIA MSCI VIETNAM-USD-ETF
ロシア	7.8%	ETF	ISHARES MSCI RUSSIA CAPPED-ETF
韓国	7.6%	ETF	ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP-ETF
アメリカ	6.5%	ETF	ISHARES CORE S&P 500 -ETF
ブラジル	6.0%	ETF	ISHARES MSCI BRAZIL CAPPED-ETF
メキシコ	5.0%	ETF	ISHARES MSCI MEXICO CAPPED-ETF
インドネシア	4.9%	ETF	ISHARES MSCI INDONESIA-ETF
トルコ	4.5%	ETF	ISHARES MSCI TURKEY ETF
イギリス	4.3%	ETF	ISHARES CORE FTSE 100-ETF
エジプト	4.1%	現物株式	
フィリピン	3.1%	ETF	ISHARES MSCI PHILIPPINES-ETF
カナダ	3.1%	ETF	ISHARES S&P/TSX 60 INDEX-ETF
フランス	2.6%	株式先物	CAC40
イタリア	2.6%	株式先物	MNMB
日本	2.6%	株式先物	225ミニ2009
ドイツ	2.3%	ETF	ISHARES CORE DAX UCITS ETF DE-ETF
合計	100.1%		

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。

＜マザーファンドの資産構成比率＞

株式（現物株式、ETF）	77.2%
債券	0.0%
現金その他	22.8%
合計	100.0%

株式先物	22.9%
------	-------

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。

＜外国通貨別投資比率＞

通貨名	比率
アメリカドル	67.9%
香港ドル	15.2%
ユーロ	7.5%
イギリスポンド	4.3%
カナダドル	3.2%
合計	98.1%

※マザーファンドの状況です。
比率は対純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎運用概況

2020年の見通しにおいてGDP規模で上位20位に入る国の株式市場のなかから、中長期的に高い成長が見込まれるBRICS諸国を中心に分散投資を行ないました。

株式市場では、投資対象各国の株価は総じて上昇しました。

欧米株式市場では、2020年4－6月期ユーロ圏域内総生産（GDP）速報値が大きく落ち込んだことや、米国がスマートフォンアプリやクラウドなどの分野で中国企業を排除する方針を発表し、米中対立激化への警戒感が強まったことなどが株価の重しとなる一方、製造業と非製造業の景況感指数が市場予想を上回ったことや、ユーロ圏の製造業PMI改定値が速報値から上方修正されたこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）が目標とする物価上昇率2%を一時的に超えることを容認する内容の新たな政策指針の発表を受けて、FRBによる長期的な低金利政策の継続が見込まれたことなどが株価の支援材料となりました。

新興国株式市場では、中国の小売売上高が市場予想を下回ったことなどが株価の重しとなる一方、中国の製造業の景況感指数が市場予想を上回ったことや、ブラジルやメキシコなど一部の新興国が政策金利を引き下げたこと、FRBによる低金利政策の長期的な継続が見込まれたことなどが株価の支援材料となりました。

為替市場では、投資対象各国の通貨は円に対して概して上昇しました。

◎市場概況

【中国】

前月末と比べて上昇しました。米国がスマートフォンアプリやクラウドなどの分野で中国企業を排除する方針を発表し、米中対立激化への警戒感が強まったことなどが株価の重しとなる一方、中国の製造業の景況感指数などが市場予想を上回り、内需主導で景気回復が進んでいるとの見方が強まったことなどが株価の支援材料となりました。

【ブラジル】

前月末と比べて下落しました。小売売上高や鉱工業生産などの経済指標に改善が見られたものの、大統領が財政規律を緩めるのではないかと懸念されたことなどが重石となり軟調に推移しました。

【ロシア】

前月末と比べて上昇しました。原油価格が堅調に推移したことや、ロシア保健省により世界で初めて新型コロナウイルスワクチンが承認されたと大統領が発表したことなどが株価の支援材料となりました。

【インド】

前月末と比べて上昇しました。インド国内における新型コロナウイルスの感染者数の増加が続いていることなどが株価の重しとなったものの、首相が新型コロナウイルスのワクチンの大量生産と政府によるインフラ支出のさらなる増額を示唆したことなどが株価の支援材料となりました。

【その他対象国】

イスラエルとUAEの国交正常化宣言が支援材料となったエジプトや、非農業部門雇用者数などの景気指標が市場予想を上回った米国などの株価が上昇する一方、外貨準備の減少などを背景に通貨トルコリラが下落し、海外への資金流出懸念が高まったトルコや、新型コロナウイルスの感染再拡大から首都圏の再封鎖を決定したフィリピンの株価が下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。